

飛べ！フクロウ 僕らの思いを乗せて

ある事件をきっかけに考え始めた自然環境について

今月の表紙

笑い声が響く上岸地区集会所にて

1月13日、「いきいきサロン・地区栄養講習会」が行われました。

上岸集会所には30人を超える人たちが集まり、大きな和室は満員です。

島田市の小池幸子さんを講師に迎え、健康な毎日を送るため、座ったままでできるストレッチ体操や、歌に合わせて体を動かす軽い運動などを学びました。

「学んだ」というよりは、全員がレクリエーションを楽しんだと言った方が適切かも知れません。

小池さんの楽しい講話や、2人向かい合っただけの手遊びなど、和室のあちこちから大きな笑い声が響いていましたから。

講師の小池さんは言います。「7掛け人生を送ってください。7掛けとは今の年齢が100歳なら70歳の気持ちで、50歳なら35歳の気持ちでいるくらいが、ちょうどいいということ。日頃から笑うことと声を出すことを心掛け、介護保険なんか使わないで楽しく毎日を過ごしましょう」

体操の後は、食推協のみなさんが作ってくれた栄養バランスに優れた食事を試食しながらの栄養講習会が行われました。

食事を取りながら、周りとの会話を楽しみながら、栄養の勉強をする。

小池さんの話を聞き、大きな声で歌い笑う。「健康に過ごす」ということを、一番実践できているのが、このサロンなのかも知れません。



3月号 目次

- ◆特集 飛べ！フクロウ 僕らの思いを乗せて・ 2
- ◆役場の窓辺から・ 13
- ◆くらしのカレンダー・ 17
- ◆まちの話題・ 22
- ◆生涯学習のひろば・ 26
- ◆くらしの情報・ 28
- ◆みんなの広場・学校レポーター'sコラム・ 30
- ◆石井有美のしゃべる箱 他・ 32

現在、町内の各学校では、「総合的な学習の時間」という授業に取り組んでいます。

児童・生徒自らがテーマを決め、その課題について1年間かけて研究・学習を進めています。

ここ中川根中学校では、ある小さな事件がきっかけとなって、より深く、より切実に、環境問題やこの町の自然について考えるようになったと言います。

今号では、「環境」をキーワードに、中川根中学校の生徒が取り組んだ学習の成果や考えたことについてご紹介します。

みなさんも一緒に考えてみませんか？ フクロウが当たり前暮らししている、この町の豊かな自然のこと。

そして、耳を澄ましてみませんか？ 地球規模で失われつつある自然の叫び声に。

身近すぎて、当たり前すぎて、見えなくなっていることが意外と多いのかも知れません。



元気になったフクロウを森に帰す中川根中学校生徒たち 1月20日